



平和憲法が危ない！！！！

九条をどうするの？

日中戦争や太平洋戦争の反省から、憲法九条に「武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する」とした。

ところが自民や維新はこの憲法を変えようと云う。

尖閣諸島問題について、石原などは武力で中国を威嚇するようなことを云っている。もし、そうしたら、中国の民衆は「中国は弱かったから日本にやられた。もっと強くなつて奪い返そう」と思うだろう。

平和的交渉こそ

大切なのは領有権の正当性の主張だ。「中国の古文書に尖閣諸島の名前はあつても、実際に支配していた訳で

は無い。一九〇五年に日本が領有を宣言し、

八〇年間中国はクレームしていなかった。又一九五八年の中国の地図では尖閣諸島は中国の国境の外にあつた。

この様な主張を中国民衆に理解して貰つて円満解決になる。これには、先の日中戦争で中国民衆に日本軍がかけた迷惑を謝罪する事も必要だ。

集団的自衛権

更に、自民や維新、小沢の「未来の党」は「集団的自衛権」の行使・容認を主張。それは同盟国Ⅱアメリカが攻撃されたら共に反撃。アメリカが戦争を始めたなら日本は自動的にアメリカ側につき、自衛隊参戦Ⅱ日本が戦争をすることになる。皆さんはどう思われますか？

エリスマン邸

山手西洋館 横浜 元町公園



横浜の元町から谷戸坂を上ると港が見える丘公園。その向いの丘の上の道を西に進むと、外人墓地があり、やがて元町公園となる。そこに、エリスマン邸がある。

スイス人貿易商エリスマンの屋敷として一九二六年（大正十五年）に建てられた。戦災を免れたが、やがて解体され、一九九〇年に、この地に再建された。一階の居間には暖炉があり、家具が並べられ往年の大貿易商の生活が偲ばれる。

建物の右下のアーチは地下ホールの窓。絵画展などが行われる。

この絵の右は谷になっていて。開港当時、その湧き水を居留民や船に供給する「水屋敷」があつた。今は、その谷戸に五十メートルプールがあり、弓道場がある。